

交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2014年3月17日

No.17

2014春闘妥結

定期昇給を確保し、ベアにこだわるも ベアゼロの壁を崩すことはできず！

■定期昇給4号俸確保

■55歳以上の社員は基本給に1,500円の加算（昨年と同額）

■契約・臨時社員の基本給を定期昇給分(2.14%)引き上げ

■嘱託社員の調整手当の改善は、実態を調査の上で労使協議を行う。

申第9号 諸要求は一部前進

- ・ 機関車への防寒シート搭載
- ・ 新型安全チョッキ（LED）導入に向けた試行実施
- ・ 半休及び保存休暇の使用事由の拡大（詳細は別途協議）
- ・ 雨具等の反射材改善は、実態調査し改めて協議する。

14春闘 賃上げ交渉最終報告

(1) 中央本部は断続的に折衝・団体交渉を行い、本日14時30分から最終交渉に臨みました。席上会社は、（これまで議論を積み重ねてきたが、回答指定日を超えたことについて謝罪する。）とした上で①定期昇給4号俸を実施する。②55歳以上の社員について基本給に1,500円を加算する。③契約・臨時社員については定昇相当分（2.14%）を基本給に加算する。④嘱託社員の調整手当の改善は、実態調査をした上別途労使協議を行う。
また諸要求については、機関車への防寒シート搭載。LED安全チョッキの試行。半休及び保存休暇の使用事由の拡大。雨具等の反射材改善は、実態調査し協議する。尚、諸要求の細部については別途協議することを明らかにしました。

(2) 回答に対して中央本部は、①4月からの消費増税によって生活が厳しくなるが、それに対応するのが会社の責務である。②今年度は11月から収入も計画値を上回っており、職場では、自然災害の中でも組合員が努力した結果、現在の収入状況がある。③JR貨物は内外から注目されている状況であり、このような時だからこそ労使が力を合わせて将来に希望がもてる会社にしていかなければならない。今年度黒字になる見込みだが、組合員に報いることがモチベーション向上につながる。そのことを会社は自覚するべきである。④私たちの想いからすれば到底納得できないが、これ以上の前進は難しいと判断し、今春闘について妥結することとしました。

(3) 組合員の皆さん！申し入れ以降、回答指定日を超える闘いとなりましたが、組合員が一丸となり最後までベア獲得や55歳以上の賃金改善、嘱託社員や臨時・契約社員の待遇改善、諸要求の改善に向けてたたかいを創造的に作り出していただいたことに感謝を申し上げます。

今後、会社は平成28年度鉄道事業部門の黒字化に向けて、様々な施策が出されることが予測されますが、中央本部は組合員の雇用と生活を守ることを通じて、JR貨物の将来を確定させるために更にJR貨物改革の闘いを推し進めることとします。その最先頭で闘うことを中央本部は改めて決意し、14春闘交渉の最終報告とします。

以上